

仕手戦の攻防

『初動』と『騙し上げ』を見抜くためのインサイダー・プレイブック



なぜ、私たちは何度も騙されてしまうのか？

- 仕手株を監視していると、「騙し上げ」や「故意に下げる」動きを頻繁に目にします。
- これらは仕手戦開始のサインではありません。飛びつければ、待っているのは損失です。
- 多くの個人投資家がこの罠に陥り、資金を失い続けています。





結論から始めます。勝敗を分ける唯一の指標は「出来高」です。

騙されることなく、仕手戦開始の真のサインを捉える鍵は、
「初動」と「騙し上げ」の違いを理解することに尽きます。

この2つの決定的な違いは、株価の上昇に「本物の出来高」が伴っているかどうかです。
「出来高を伴った上昇が続く」。これが初動であり、仕手戦開始のサインです。

戦場の二つのシグナル：「初動」と「騙し上げ」

「初動」



仕手筋による本格的な上昇の開始。大きな利益機会。

Key: 莫大な出来高を伴う。

「騙し上げ」



個人投資家を罠にかけるための偽りの上昇。損失の元凶。

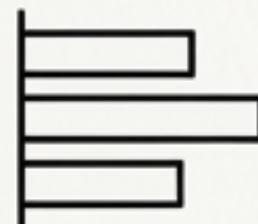
Key: 出来高が伴わない、もしくは乏しい。

「初動」は一大プロジェクト。仕手筋は完璧な状況でしか仕掛けない。

仕手筋（投資ファンド）は、以下の条件が揃わなければ、決して「初動」を開始しません。



株集めの完了



初動に適した相場環境

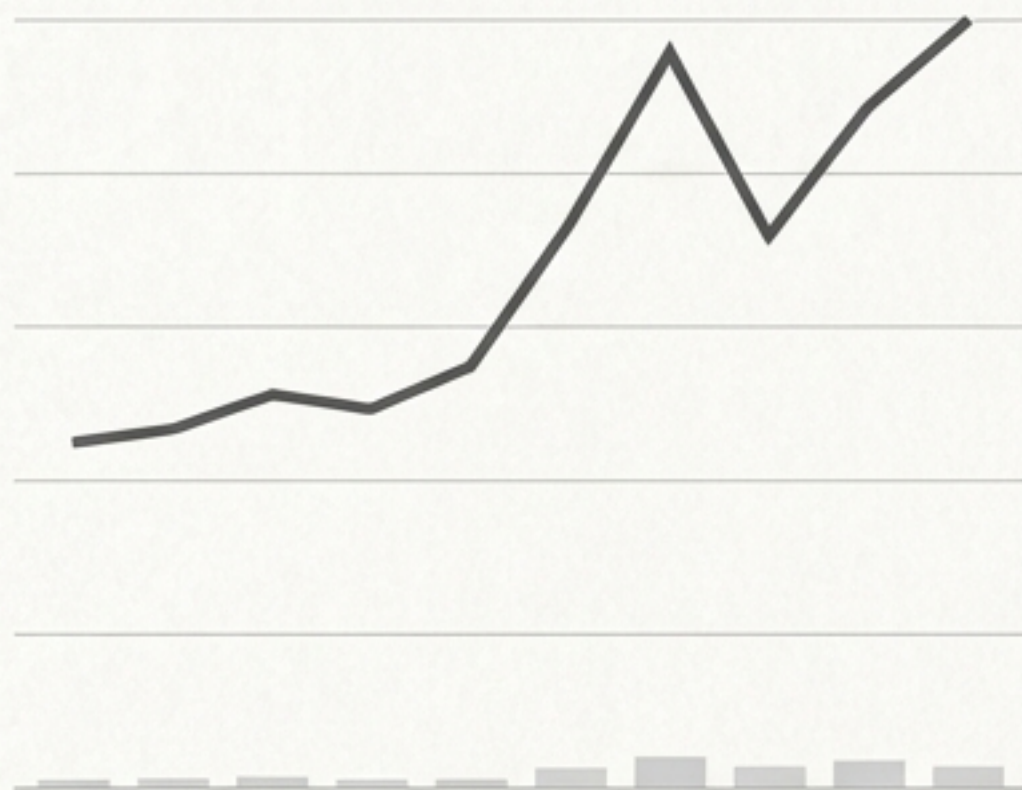


彼らにとって失敗は許されない。

だからこそ、「初動」は信頼性の高いサインとなり得ます。

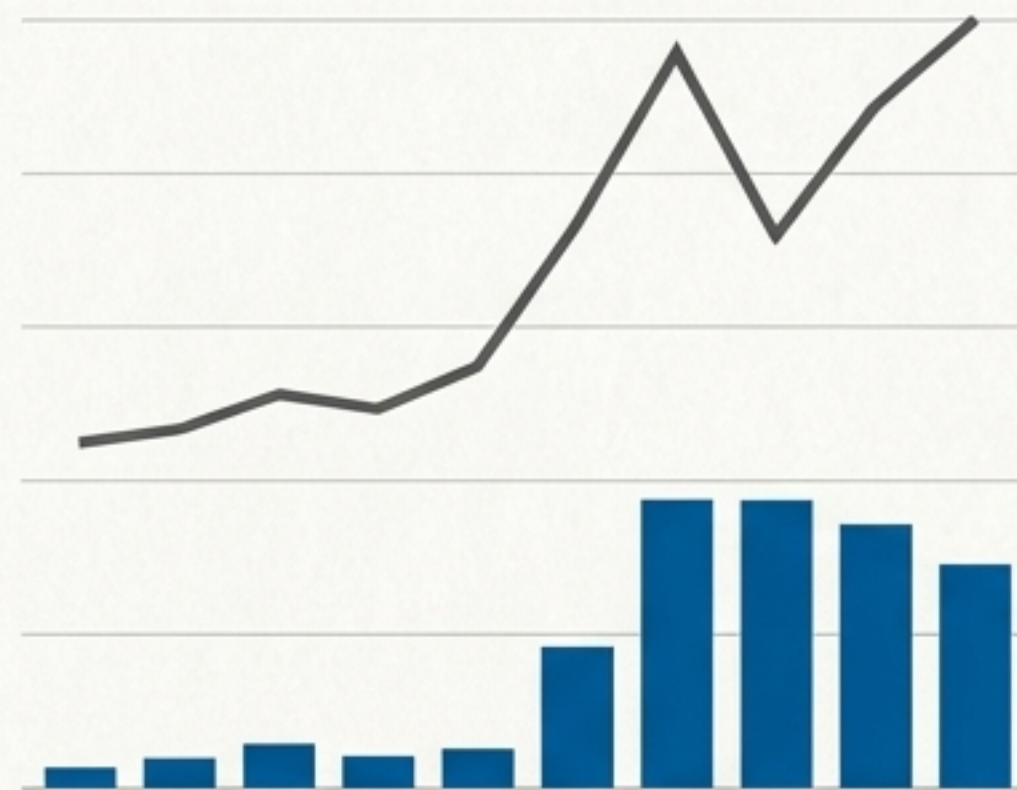
株価の動きは同じでも、物語は「出来高」が語る。

「騙し上げ」



出来高が伴わない上昇

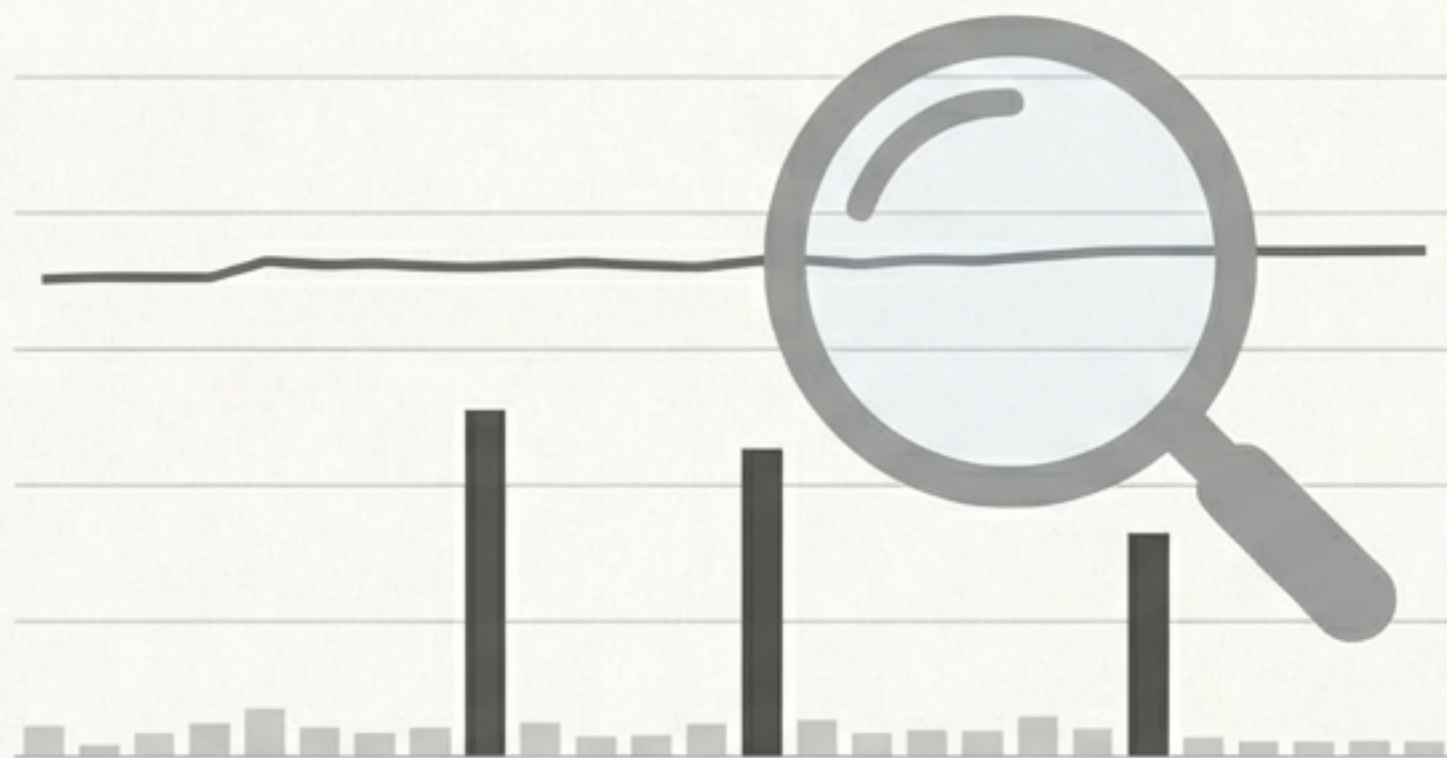
「初動」



莫大な出来高を伴う上昇

判断基準は「株価の上昇」ではなく「出来高」。これがプロの視点です。

誤解されがちなサイン①：「不自然な約定」は初動ではない。



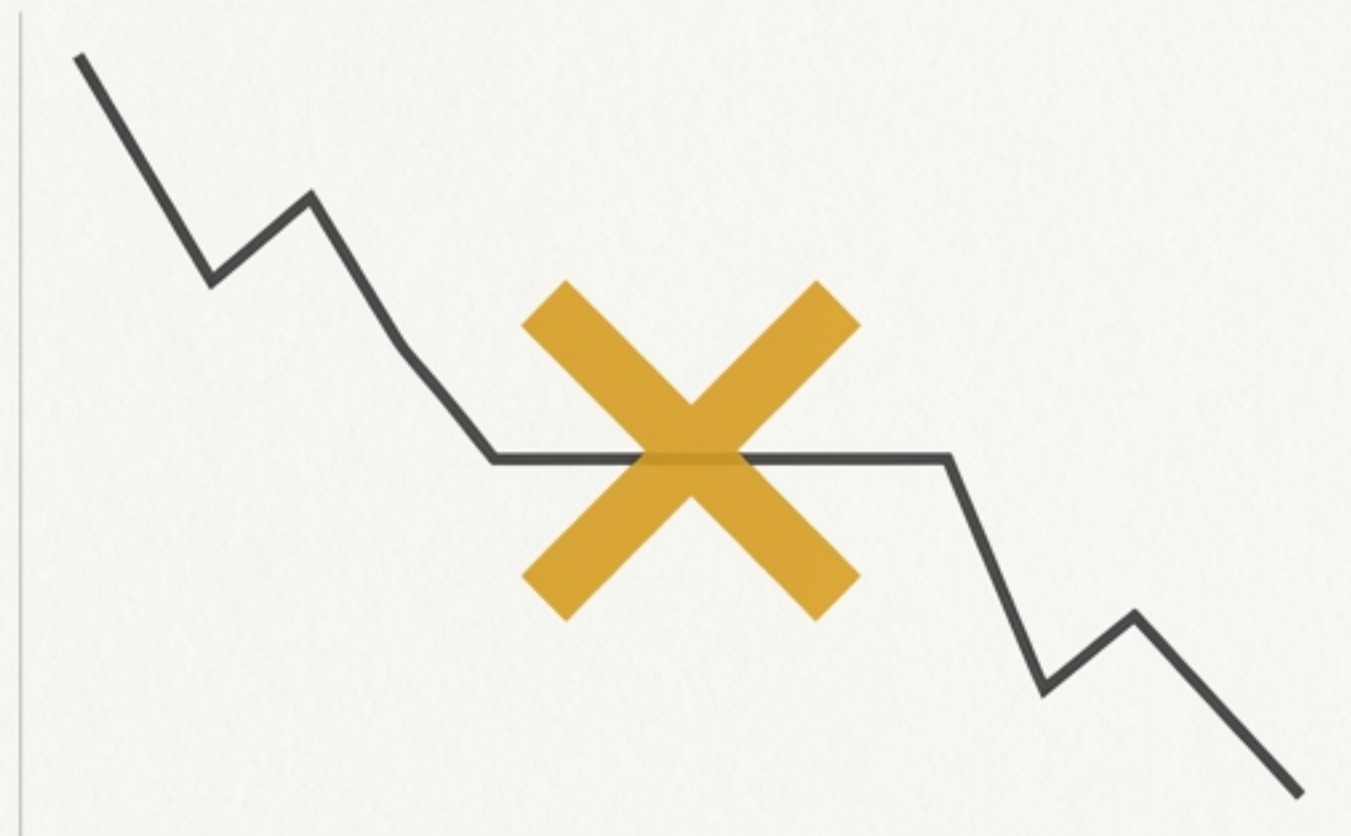
いつもと違う出来高で、株価が動かないまま約定が続くことがあります。

「初動か？」と期待しがちですが、これは違います。

真の意味：これは「初動に向けた準備」の段階です。仕手筋が意図的に目立たせる必要がないため、本格的な開始サインではありません。

結論：不自然な約定は、監視対象にするきっかけにはなっても、取引のサインではない。

誤解されがちなサイン②：「下げ止まり」は絶好の買い場ではない。



仕手筋は、安値で株を集めるために意図的に株価を下げます。個人投資家に損切りさせ、さらに下落させるのが常套手段です。

そのため、チャートが「下げ止まった」ように見えても、それは仕手筋が作り出した偽りの底である可能性が高いのです。

原則：安易な「下げ止まり」狙いの取引は、さらなる下落に巻き込まれるリスクを伴います。初動の確認がなければ、取引は見送るべきです。

敵は進化する：出来高を伴う「騙し」という新たな脅威

基本ルールは「出来高」での判断。しかし、近年、仕手筋はこのルールを逆手に取った戦術を使い始めました。

新たな手口：出来高を伴って上昇（初動）したにもかかわらず、その日のうちに下落して引ける（騙し上げ）。

仕手筋の意図：おそらく、想定以上の個人投資家の買いが集まりすぎたため、一度リセット（仕切り直し）するために、再度下落させていると考えられます。

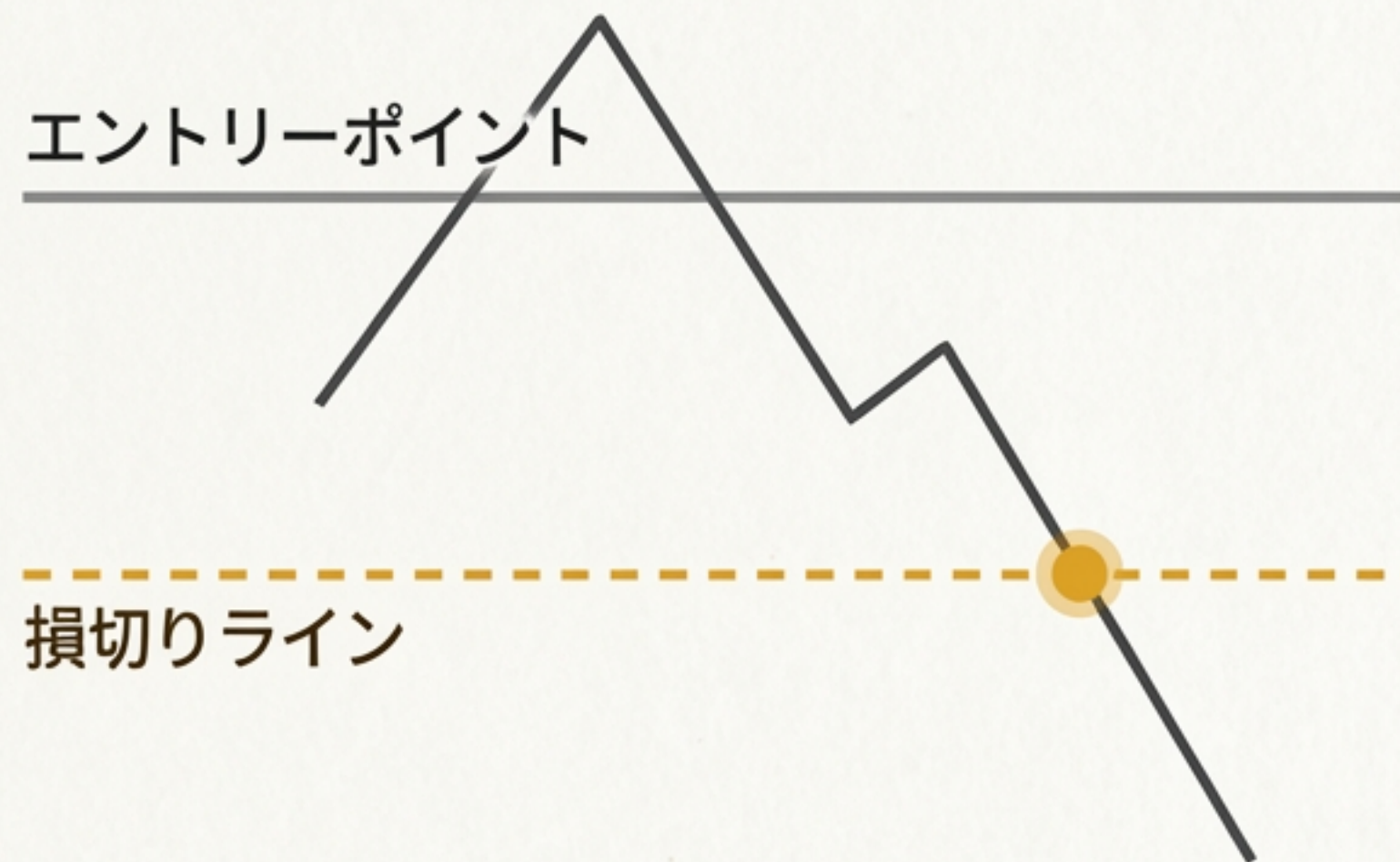


進化した敵への対抗策： 取引を「損切り」の可能性 が高いゲームと認識する。

出来高を伴う上昇でエントリーした場合でも、もはや100%安全ではありません。途中までは初動であっても、下落したことで「初動ではなくなった」と判断する必要があります。

保有し続ければ、損失は拡大します。

****戦略的思考****: エントリーの瞬間から、「この取引は損切りになる可能性がある」と理解しておくことが、致命的な損失を防ぐ鍵となります。





最強の武器は「待つ」こと。

仕手筋は、相場のプロ集団です。大衆心理を巧みに利用し、豊富な資金力と情報操作で個人投資家を翻弄します。

彼らの無数の策略に騙されない唯一の方法は、いつ始まるかわからない本物の「初動」を、辛抱強く待ち続けることです。

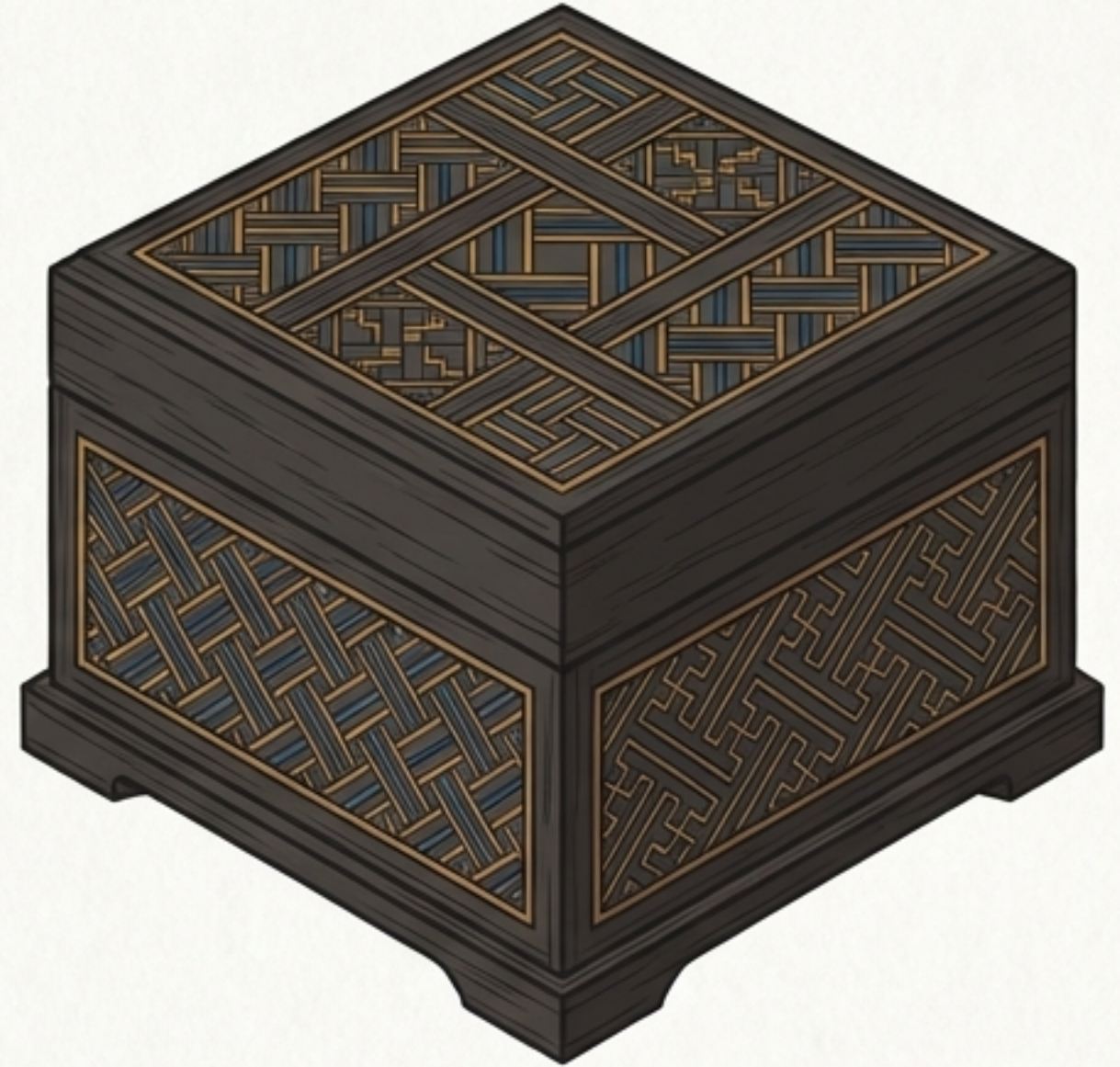
**「たとえ何回騙されたとしても
辛抱強く『待つ』しかありません。
その先にある大きな利益の瞬間を
想像しながら…」**

なぜ、この知識には 価値があるのか？

もし仕手戦のサインが誰にでも的確に分かってしまったら、その優位性は失われ、利益にはつながりません。

「サインが的確に分からない」状況が続いていることこそが、仕手筋が利益を独占し、仕手株市場が存続している証拠なのです。

「仕手株投資は、多くの個人投資家ができないことに価値があります。だからこそ、その先には膨大な利益があるのです。」



最後に勝つのは、諦めなかった投資家だけ。



仕手株投資で継続的に利益を得る道は、単純なサインの理解だけではありません。
それは、騙された経験を糧にし、学び続け、そして何よりも諦めなかった者だけに開かれます。
戦術を磨き、精神を鍛え、好機を待つ。それが、私たちが目指すべき投資家の姿です。

この出会いを、スキルアップのきっかけに。

仕手株投資で確実に利益を出し続けるためには、
知るべきことがまだ多くあります。

このサイト`仕手株.コム`では、日々の株価動向の分析を通じ、
投資家としてのスキルアップを共有することを目的としています。

「今この瞬間の巡り合わせを何かのきっかけと捉え、
仕手株投資家としてのスキルアップに突き進んでいただければ幸いです。」

仕手株.コム

